

2019年8月19日

成田空港の全てのターミナルで『Smart Check-in』が今夏より順次スタート！ ～自動手荷物預け機の本格導入により、ファストラベルを推進～

成田空港では、今夏から全てのターミナルに順次、自動手荷物預け機が本格導入されることにあわせて、自動チェックイン機と自動手荷物預け機を利用したセルフサービス型の搭乗手続き『Smart Check-in』をスタートいたします。

自動手荷物預け機の導入

自動手荷物預け機については、第1ターミナル北ウイングにおいて実証実験を行い、運用検証を行って参りましたが、お客様の待ち時間短縮、チェックインカウンター周辺の混雑緩和など導入効果が大きいと期待されることから、第1ターミナル南ウイングを皮切りに、来年の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会までに、全ターミナルに合計72台を本格導入いたします。



※『Smart Check-in』ゾーンに設置される自動手荷物預け機(イメージ)

『Smart Check-in』のスタート

自動手荷物預け機の本格導入に伴い、自動チェックイン機と自動手荷物預け機を集中的に配置するエリアを『Smart Check-in』ゾーンと位置づけ、案内表示のリニューアルを行うことにより、お客様動線の円滑化も図るとともに、航空会社の限られた人的リソースの最適化も促進したいと考えております。

成田空港では、『Smart Check-in』を利用できる航空会社を今後拡大していき、お客様の手続き時間・待ち時間を短縮することで、お客様の多様なニーズに対応して、シームレス、ストレスフリーな移動の実現を図って参ります。

■ 自動手荷物預け機導入予定台数及び導入予定時期

ターミナル	導入台数	導入時期（予定）
第1ターミナル南ウイング	20台（国際線）	DゾーンE側（2019年夏） DゾーンC側（2019年秋）
第1ターミナル北ウイング	8台（国際線）	DカウンターC側（2019年秋）
第2ターミナル	28台（国際線）	Oカウンター（2019年秋） Hカウンター（2020年早春） Mカウンター（2020年春） Eカウンター（2020年夏）
第3ターミナル	16台（国際線及び国内線）	Dカウンター（2020年早春） Cカウンター（2020年夏）

※工事の進捗により、導入時期が異なる可能性があります。また、航空会社によって利用可能となる日が異なるため、利用の可否については、各航空会社へお問い合わせ下さい。

■ 参加予定航空会社（全15社）

ターミナル	参加予定航空会社
第1ターミナル南ウイング (4社)	    全日本空輸 ニューージーランド航空 スカンジナビア航空 エチオピア航空
第1ターミナル北ウイング (3社)	   KLMオランダ航空 エールフランス航空 アリタリア-イタリア航空
第2ターミナル (6社)	      日本航空 キャセイパシフィック航空 アメリカン航空 カンタス航空 エミレーツ航空 フィンエアー
第3ターミナル (2社)	  ジェットスター・ジャパン ジェットスター航空

■ ご利用方法

※各機器はイメージで、実際の機器とは異なります。



Step1. チェックイン

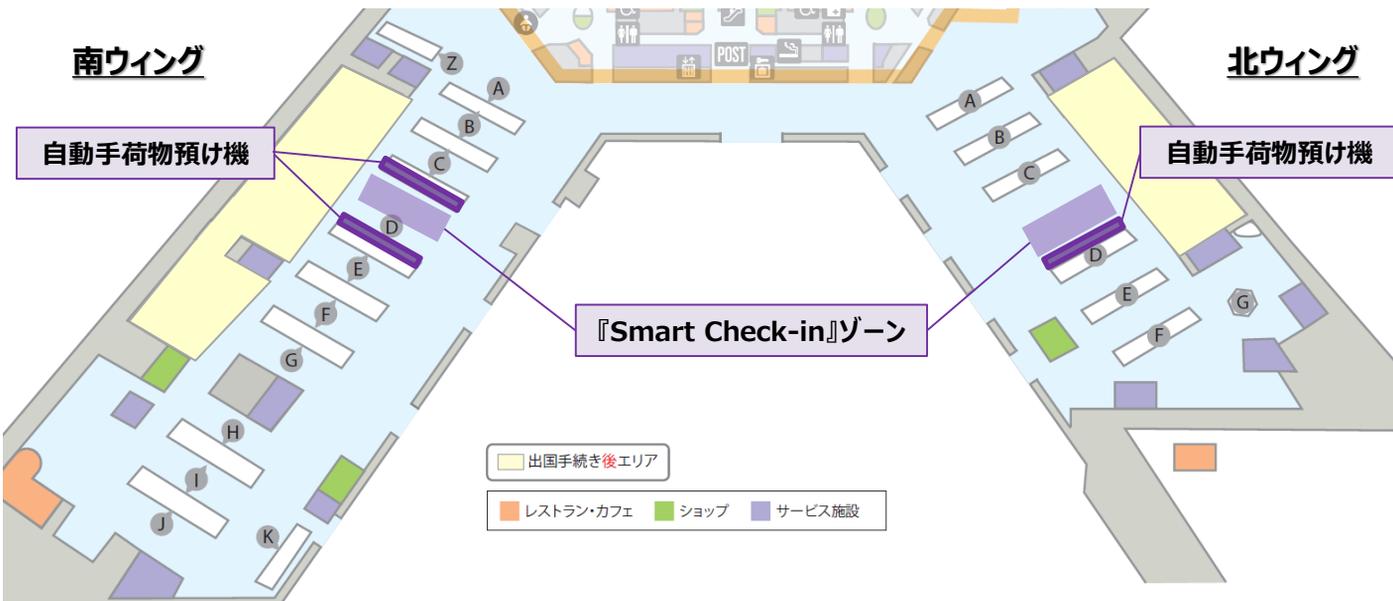


Step2. 手荷物預け

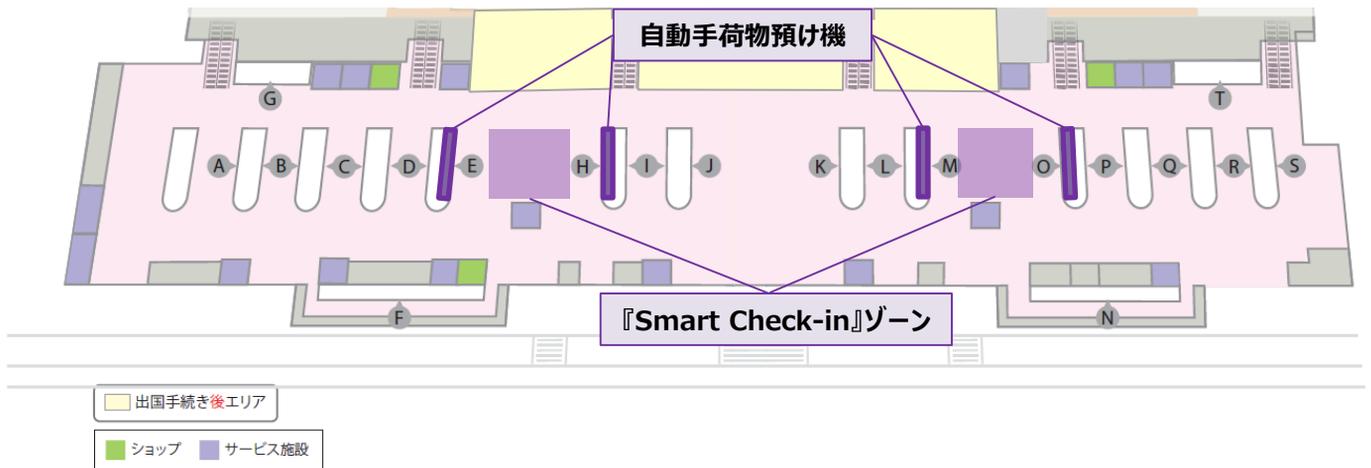
- Step 1 : Webによる事前チェックイン又は自動チェックイン機によるチェックインを実施。
- Step 2 : 自動手荷物預け機にてお預け手荷物の手続きを実施。

■ターミナル別『Smart Check-in』エリア

第1ターミナル



第2ターミナル



第3ターミナル

